

SPA100シリーズの管理にIVRを使用

目的

IVR(Interactive Voice Response)は、SPA100シリーズアナログ電話アダプタが提供するアプリケーションで、管理者はアダプタの基本的なセットアップ設定にアクセスできます。これは、Webベースの設定ユーティリティへのアクセスが制限されている場合に、管理者が便利です。この記事では、SPA 100シリーズアナログ電話アダプタの管理目的でIVRを使用する方法について詳しく説明します。

該当するデバイス

- ・ SPA112
- ・ SPA122

[Software Version]

- ・ 1.3.2-XU(014)

管理用IVR

注：次のヒントを考慮してください。

- ・ 数字をゆっくり押し、IVRが確認用の数字を繰り返してから、次の数字を入力します。
- ・ オプションを選択したら、常にシャープ(#)キーを押してください。
- ・ 設定を保存するには「1」を、設定を確認するには「2」を、設定を再入力するには「3」を押します。
- ・ 設定を取り消したり、メインメニューに戻るには、スターキー(*)を押します。
- ・ IPアドレスなどの値を入力する際、特定の数値をキャンセルする場合は、アスタリスク(*)キーを2回押します。そうしないと、小数点として扱われます。

ステップ1：アナログデバイスをSPA100シリーズの電話ポートのいずれかに接続します。

ステップ2:IVRシステムにアクセスするには、****を押します。

ステップ3:IVRがパスワードを要求する場合は、IVR管理用に設定された管理者パスワードを使用します。1234#を押します。

ステップ4:IVRから、希望のオプションを入力し、その後にシャープ(#)キーを入力するように求められます。目的のアクションのコードを押します。IVRを使用して実行できるアクションは次のとおりです。

- ・ IVRメニューを入力 - ****を押してIVRメニューにアクセスします。
- ・ [インターネットアドレッシング方式(Internet Addressing Method)] — 100を押してインターネットアクセスを設定します。次のオプションがあります。
 - DHCP — IPアドレスを動的に設定するDHCP (Dynamic Host Control Protocol)をアクテ

イブにするには、0を押します。

-Static IP:1を押して静的IPアドレスをアクティブにします。後でIVR経由でスタティックIPアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、およびサブネットマスクを指定する必要があります。

-PPPoE：アクティブなPPPoE(Point to Point Protocol over Ethernet)に対して2を押します。後でIVR経由でインターネットサービスプロバイダーから提供されるIPアドレスを提供する必要があります。

・ [インターネットIPアドレス (インターネットポート) (Internet IP address (INTERNET Port))]:110を押して、WANポートのIPアドレスを確認します。

・ Set Static IP Address (INTERNET Port) — 111を押して静的IPアドレスを設定します。次に、電話キーパッドの番号を使用して、目的のスタティックIPアドレスを入力します。小数点にはアスタリスク(*)を使用します。

注：このオプションは、インターネット接続タイプとして[スタティックIP]を選択した場合にのみ使用できます。

・ Check Network Mask — 120を押して実際のサブネットマスクを確認します。

・ Set Network Mask — 121を押してネットワークマスクを設定します。次に、電話キーパッドの番号を使用してサブネットマスクを入力します。小数点にはアスタリスク(*)を使用します。

・ [ゲートウェイIPアドレスの確認(Check Gateway IP Address)]:130を押して、デフォルトゲートウェイの実際のIPアドレスを確認します。

・ Set Gateway IP Address:131を押してデフォルト・ゲートウェイのIPアドレスを設定します。次に、電話キーパッドの番号を使用してゲートウェイのIPアドレスを入力します。小数点にはアスタリスク(*)を使用します。

・ MACアドレスの確認 – 140を押して、アダプタのMACアドレスを確認します。

・ Check Firmware Version — 150を押してアダプタの実際のファームウェアバージョンを確認します。

・ プライマリDNSサーバ設定の確認 – 160を押して、DNS (ドメインネームシステム) の実際の設定を確認します。

・ Set Primary DNS Server — 161を押してプライマリDNSサーバを設定します。次に、電話キーパッドの番号を使用して、プライマリDNSサーバのIPアドレスを入力します。小数点にはアスタリスク(*)を使用します。

・ インターネットWebサーバポートの確認 – 170を押して、インターネットポートが使用している実際のポート番号を確認します。

・ LAN IP Address (ETHERNET port)を確認します。これはSPA122でのみ使用できます。210を押して、イーサネットポートのIPアドレスを確認します。

・ 回線1のSIPトランスポートをアナウンス1910を押して、回線1のSIP(Session Initiation Protocol)の実際のトランスポートプロトコルを確認します。

・ Set Line 1 SIP Transport — 1911を押して、SIPの回線1で使用されるトランスポートプロトコルを設定します。次のオプションがあります。

- UDP — 0を押して、UDPを転送プロトコル (ユーザデータグラムプロトコル) として設定します。
- TCP — TCPをトランスポートプロトコル(Transmission Control Protocol)として設定するには、1を押します。
- TLS — 2を押して、トランスポートプロトコル(Transport Layer Security)としてTLSを設定します。
- ・ [Line 2 Transport]をチェックします。[1920]を押して、行2のSIPの実際のトランスポートプロトコルをチェックします。
- ・ Set Line 2 SIP Transport — 1921を押して、SIPの回線2で使用されるトランスポートプロトコルを設定します。次のオプションがあります。
 - UDP — 0を押してUDPをトランスポートプロトコルとして設定します。
 - TCP — 1を押してTCPをトランスポートプロトコルとして設定します。
 - TLS — 2を押して、TLSをトランスポートプロトコルとして設定します。
- ・ IVRの終了 – 3948を押してIVRを終了します。
- ・ 管理WebサーバーへのWANアクセスを許可または禁止する – 7932を押して、管理Webサーバーへのアクセスを設定します。
 - Enable — 1を押してアクセスを有効にします。
 - Disable – アクセスを無効にするには0を押します。
- ・ Factory Reset of Unit — 73738を押して、アダプタを工場出荷時のデフォルト設定に設定します。プロンプトが表示されたら、1を押して確認するか、アスタリスク(*)を押してキャンセルします。「Option Successful」というメッセージが表示されたら、電話機を切断します。デバイスがリブートします。
- ・ Reboot of Voice System — 732668を押して音声システムをリブートします。「Option Successful」というメッセージが表示されたら、電話機を切断します。デバイスがリブートします。
- ・ User Factory Reset of Unit — 87778を押して、ユーザ設定を工場出荷時の値に設定します。プロンプトが表示されたら、1を押して確認するか、アスタリスク(*)を押してキャンセルします。「Option Successful」というメッセージが表示されたら、電話機を切断します。デバイスがリブートします。